

# 免震重要棟の建設について

平成20年5月15日

東京電力株式会社

柏崎刈羽原子力発電所



東京電力

---

# 免震重要棟 概要（１）

---

## 目的

新潟県中越沖地震の教訓から、震度7クラスの地震が発生した場合においても、緊急時の対応に支障をきたすことがないよう、緊急時対策室および重要設備の機能を確保する免震重要棟を建設する。

## 建物

- ・ 建築面積：約2,000m<sup>2</sup>
- ・ 延床面積：約4,000m<sup>2</sup>
- ・ 階数：地上2階（地下なし）
- ・ 高さ：約12.5m
- ・ 構造種別：鉄骨鉄筋コンクリート造
- ・ 基礎：免震構造

# 免震重要棟 概要（２）

## 機能

- ・ 緊急時対策室（関係機関とのホットライン、テレビ会議室など）
- ・ 通信設備
- ・ 電源設備（自家発電用設備含む）
- ・ コンピュータ室
- ・ 空調設備
- ・ 執務室 / 宿泊室 ほか

## 工程

- ・ 地質調査（ボーリング）：平成20年 2月～3月 実施済
- ・ 許認可関係手続き：平成20年5月～
- ・ 敷地造成工事：平成20年6月～
- ・ 建物完成：平成21年 夏予定

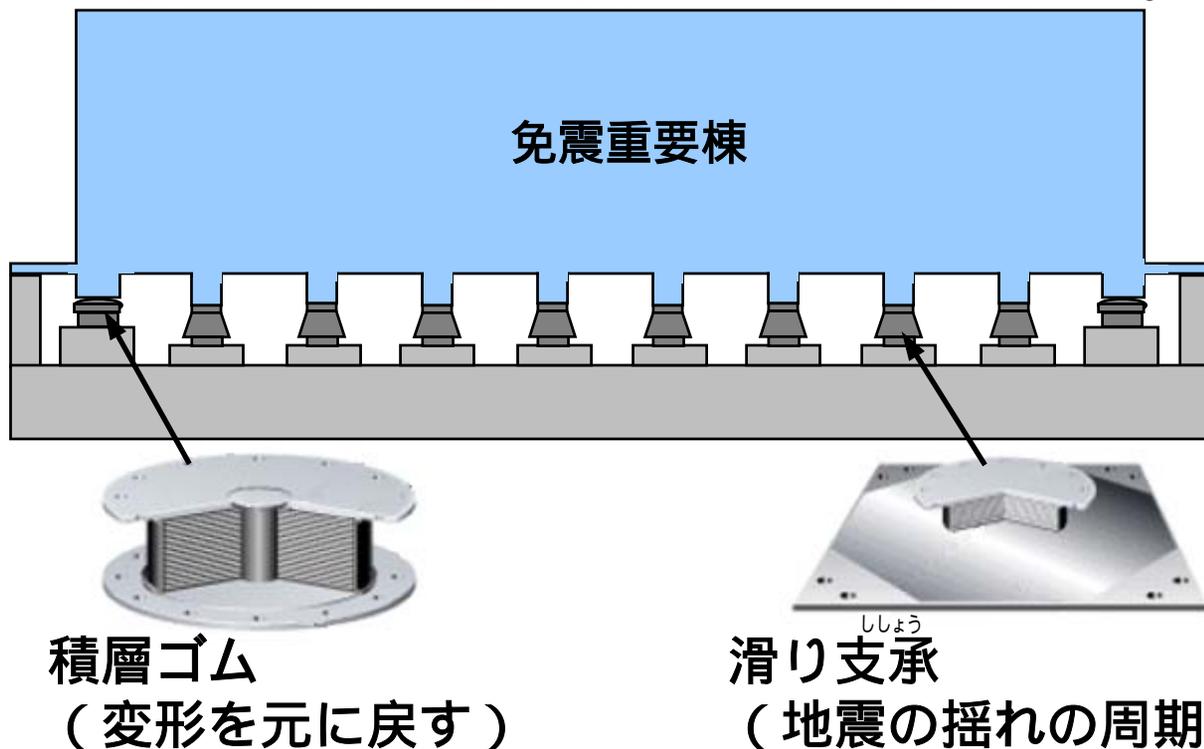
下線部に誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。（平成20年5月15日12時00分）



# 免震重要棟 概要（４）

## 免震構造

- 建物への地震の揺れの周期を伸ばすため、摩擦の少ない滑り<sup>ししょう</sup>支承を用いる。
- 滑り支承の外周部は、揺れによる変形を元に戻すため、変形性に優れた大口径の積層ゴムを配置する。



# 完成予想図



平成21年夏 竣工予定